

平成23年5月16日(月)

No.8

江戸川区立第六葛西小学校
校長 伊藤辰久

江戸川区西葛西4-5-1 電話(3688)0485・Fax(3688)0510
メールアドレス: kasai6s@EDOGAWAKU.ed.jp

『What's your name? 『My name is 〇〇〇』

外国語活動が始まりました

今年度から小学校で5・6年生の外国語活動が始まりました。

外国語活動は、数年前から「ハロー先生」として授業に取り入れられていました。今年から正式な授業として実施されるものです。

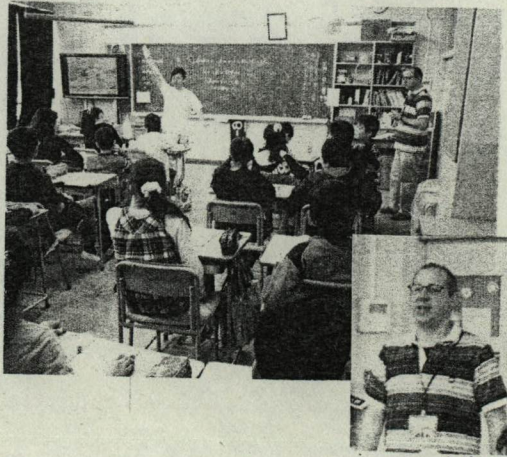
5・6年生は、年間35時間(週1時間あたり)の外国語活動を行うことになります。

授業を進めるにあたって外国語指導助手が配置されます。「ハロー先生」と呼ばれています。ハロー先生の配置時間は、年間で5・6年生は20時間です。残りの15時間は、担任が進めることになります。

1～4年生は授業としては義務づけられていませんが、本校では年間10時間を外国語活動にあてることにしています。ハロー先生は年間3時間、残りの7時間は、担任が進めます。

今年の「ハロー先生」は、昨年までのテリーサ・ロジャースさんに替わってイギリス生まれの男性先生マシュー・デレック・グリフィスさんです。

5・6年生は、『(1) 外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験する。(2) 積極的に外国語を聞いたり、話したりする。(3) 言語を用いてコミュニケーションを図ることの大切さを知る。』ことを中心にした学習活動に取り組んでいます。



ハロー先生

外国語活動の目標

外国語活動は、今年度から正式に授業として始まりました。

学習指導要領では、外国語活動の目標を次のようにかかげています。

「外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。」

春の交通安全運動

5月11日～20日

大型連休でエネルギーの充電をした子供たち。どの子も新たな決意に燃えて登校してきています。

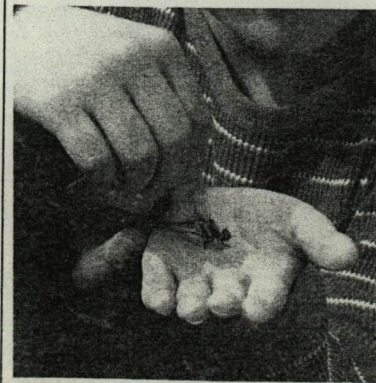
さて、5月11日より20日まで春の全国交通安全運動が取り組まれています。今回の交通安全運動の基本は、「子どもと高齢者の交通事故防止」とされ、重点目標は、①自転車の安全利用の推進、②シートベルトとチャイルドシートの正しい着用、③飲酒運動の根絶、④二輪車の交通事故防止、となっています。

交通安全期間は、20日で終了しますが、引き続き交通安全には、細心の注意をはらっていきたいと思います。江戸川区では、事故発生件数の40%近くが自転車の事故です。また、子供の事故死傷者数は、全体の死傷者数の10%近くになっています。

本校では、7年前に交通事故による死亡事故が発生しました。『こんな悲しみは二度とたくない』と交通安全には特に注意を払ってきました。死亡事故が発生した11月を特別に独自の「交通安全運動月間」として取り組み、1学期から2学期にかけて特設授業として葛西警察署や区役所、ヤマト運輸の協力を得て、1年生が「横断歩道での安全教室」3年生が「自転車運転免許講習」、5年生は「車の死角」体験教室、PTA「ろくっこまつり」では「交通安全教室」を実施して自分の身の安全を守る活動を進めています。しかしそれでも「ななめに横断」したり、事故にはいたっていませんが、横断歩道で信号が点滅しているにもかかわらず横断したり、はらはらすることが絶えないのも現実です。何としても交通事故は防ぎたいものです。学校でも、常日ごろ交通安全について指導していますが、ご家庭でもこうした機会に自転車の乗り方や道路の歩行などについて、お子さんと話し合ってみてください。よろしくお願いします。

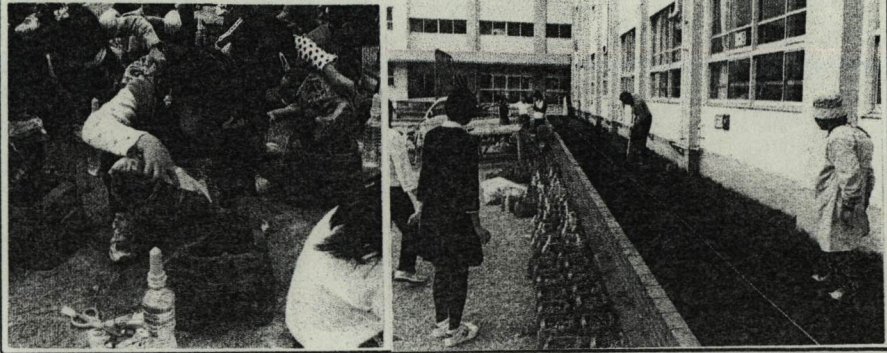
ヤゴがトンボに“へんし～ん”

3年生が教室で飼っていた『ヤゴ』が『トンボ』に変身しました。初めて体験する子供たちも多く「見て！見て！見て！校長先生」と大喜びでした。こんな体験をたくさんさせてあげたいものです。



大きなサツマイモが育ちますよ～に

「栽培応援団」の関口隆雄（元十八軒自治会長、ネパール姉妹校委員長）さんが、1・2年生の学年園を耕してくれました。耕耘機でまたたくまに耕してくれました。2年生はここにサユマイモを植えることになっています。1年生は落花生などを植えることにしています。1年生は、朝顔の種も植木鉢にまきました。しっかり育つといいですね。



集団登校—27日まで

1年生が登校に慣れるように4月の入学時から集団登校を実施してきました。5月でいったん個別登校に切り替えます。

5月28日（土）が運動会になります。当日は、5・6年生は係活動で早めの登校となり、集団登校に高学年がいないことになり、それぞれの登校になります。30日（月）は、振替休業日で学校はお休みになります。

つきましては、登校班による集団登校を5月27日までとして、それ以後は、個別の登校とします。

次に集団登校を行うのは、8月25日の2学期始業式からとなります。

登校時の交通安全に気をつけるように学校でも指導しますのでご家庭でもよろしくお願い致します。

エコキャップが届けられました
東京福祉専門学校の学生さんが集めてくれたエコキャップが学校に届けられました。子供たちが集めていることを聞いて、協力したいと申し出てくれたのです。



『あしぶえ』掲載作文紹介

江戸川区教育委員会発行児童作文集

信じるということ

六葛西 六年 川名 瞳子

（現在 中学一年生）

四月の終わりから組体操の練習は始まった。練習は一人技からしくじった。私はバランスをとるのがひどく苦手で一人技の練習がいやだった。あきらめかけ、休んでいる時考えた。「今はできなくても、自分を信じてたくさん練習すれば、できるかも。」そこで私は毎日自分で練習した。自分を信じ、必ずできると思いながら。

二人技はひざのり、肩車、サポテンだった。体重が重いから土台だと思っていたけれど上だった。「またバランス技か。」と、ため息をついた。ひざのりは何回か練習してできたが、肩車がどうしてもできない。ペアの友達は何回か練習して上げてくれるけれど、私は恐くていつも

「降ろして。お願い！」

と、言っていた。ペアの子はちょっといら立っているみたいだった。私は家に帰り、母にそのことを言った。すると

「それは、その子を信じていないからよ。組体操は心を一つにして信じ合わなければ成功しないんじゃない。」

と、言われた。私は、「そうだ。相手を信じることを忘れて、言われた。私は、「そうだ。相手を信じることを忘れて、恐がってばかりいた。反省しなくちゃ。」と思った。翌日、ペアを信じてやってみたら成功した。理由は一つ。信じ合っただけ。このことがあって、他の技もみんなを信じてやると、不思議と成功した。

でも九段ピラミッドは大変だった。いつも六段くらいでくずれる。みんな、ため息続きた。何故成功しないのか。みんなが信じ合っていない、これが答えだと思った。でもそれはとても残念な答えだ。練習は続いた。本番の前々日、初めて九段が上がった。とてもうれしかった。それは成功した

うれしさとみんなの心が一つになったうれしさだった。五月二十九日朝、きん張と不安が混じった気持ちで起きた。今日は運動会。みんな同じ気持ちだと思った。たくさん練習したけれど、成果が現れるか分からない。教室に入ると黒板に先生のメッセージがあった。「心を一つに！渾身！」それは私に自信を与えた。そして本番、「渾身！おお。」とさけんで校庭に走る。私は「成功しますように。」と願っていた。手を上げる、足を上げる。練習の成果が出た。ほとんどゆれずにできた。二人技も見事に成功した。私のペアは笑顔だった。自分を信じ、ペアを信じてよかった、心からそう思った。三人技五人技十人技もすべて成功した。そしてピラミッド。

「みんなの心が一つになって、どうか上がりますように。」

七段目八段目、そして九段目が上がった！その瞬間割れるようなはく手とかん声が。なみだがうかんだ。感動の百十九人

九段ピラミッドのうれしなみだであった。組体操を通して学んだことは、人を信じることだ。九段ピラミッドは、土台の人が上の人は絶対上がると信じ、上の人は土台を支えてくれると信じたからこそ成功したのだと思う。そして、人を信じることも大切だが、自分を信じることもとても大切だと思う。自分を信じていなければ、どの技も成功しなかったら。これからも、この組体操のことを忘れず、人を信じ、自分を信じて生きていきたいと思う。